

Title	今日的アイデンティティ形成と組織マネジメント-アタ`ルトチルト`レンの特徴を持つ人々の活用に関する一考察-
Sub Title	
Author	一守靖(Ichimori, Yasushi) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1998
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1998年度経営学 第1407号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1407

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	高木研究会	学籍番号	89728085	氏名	一守 靖
(論文題名)					
<p>今日のアイデンティティ形成と組織マネジメント — アダルトチルドレンの特徴を持つ人々の活用に関する一考察 —</p>					
(内容の要旨)					
<p>不明確かつ変化が驚くほど速い経営環境下において企業が求めるべき人材像は、現代の若者が持つ「まわりの状況に敏感」「キレル」能力と通じるところがある。厳しい競争を勝ち抜くためには、企業は次代を担う若者の持つ力を十分に活用することが不可欠である。</p> <p>そこで本論文では、現代の若者の特徴を浮き出ださせ、彼らに対する有効な組織マネジメントについて考察した。そのために、現代の若者の特徴を端的に表していると思われる「アダルトチルドレン」という特徴に着目し、その特徴を文献研究で整理すると共に、その発生メカニズムを、主に人間の発達理論を中心として考察した。本論文の特徴は、これまで主に臨床の現場で確認されてきた若者の特徴を、実地調査を織り交ぜて浮き出たせたことにある。</p> <p>実地調査の結果、現代の若者像が「まわりと自分を気にする」「不安感がある」「平静なフリをする」「自信がある」という4つの特徴に集約できること、そしてこれらの特徴は文献研究で抽出した、今日のアイデンティティ形成の結果持つに至ると思われるアダルトチルドレンの特徴をよく反映していること、学生は自信が大きい人ほど不安感が小さいが、会社員の場合は自信が大きい人ほど不安感も大きいこと、日本の大企業においてもアダルトチルドレン的な特徴を持つ若手従業員が相当数存在すること等がわかった。</p> <p>こうした実地調査に事例研究を加えて把握した事実から、アダルトチルドレンの特徴を持つ現代の若者を活かす組織マネジメントとして、(1) 出入り自由の組織をたくさん作り、参加に必要な要件を明確で明示的、かつオープンにしておく(2) 素材をけずって場所にはめこむのではなく、適材を選択する(3) 周囲の状況をいつでも参照できる体制にしておく(4) “健全な爆発力”を發揮できるタイプかどうかを見極める、の4つを提言として結論づけた。</p>					